## 幸手への思いを写真にこめて

明里は親友のさくらと教室に向かいながら、終わったばかりのひ

難訓練について話していた。

「今年のひ難訓練もしっかりできてよかったね。」

ような災害が多くて心配だね。」「そうだね。でも、最近は東日本大震災や常総市でおこった水害の

歴史」と書かれたコーナーに目を止めた。さくらの話に明里は大きくうなずきながら、校長室の前の「幸手の

「本当だ。『幸手の歴史』って書かれているけど、いつごろの写真な「ねぇ、さくら。この写真も道路が水でいっぱいになっているよ。」

お祭りを楽しむ人々のカラー写真もある。写真の中には、昔の町のそのコーナーには、白黒写真が並ぶ。明里は一枚一枚を見ていく。んだろう。」

昔の道路や家並みなど、明里は興味深く見入った。ふと、明里はあ(私は幸手に生まれ育ってきたのに何も知らなかったな……。)

様子が映し出されていた。

「この写真、みんな『浜田得一さん』がさつえいしているよ。」

ることに気づいた。

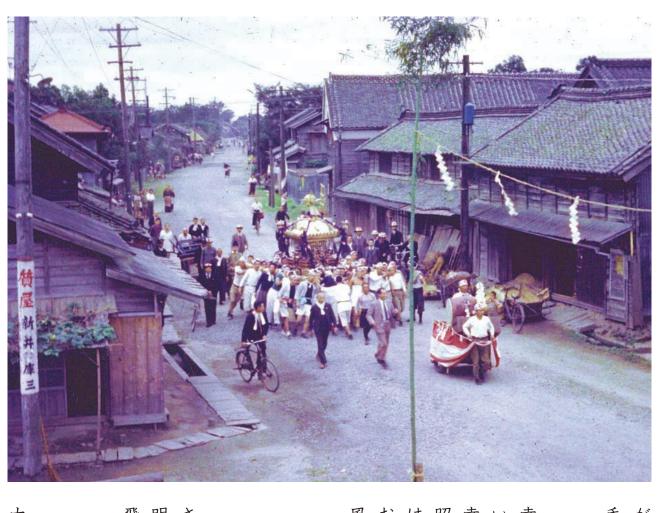
先生にたずねると、幸手市の民具資料館にもっとたくさんの写真「本当だ。この写真も……。」



学習した日

日

月



手の昔を知るチャンスかもしれない、と明里は思った。が飾られていることを教えてくださった。もしかしたら、幸

風による大水害。いずれも九月に起こった災害だ。本手市民具資料館を訪れた。資料館には、浜田さんのさつえいした写真が展示されていた。浜田さんは上高野に生まれ、いした写真が展示されていた。浜田さんは上高野に生まれ、いした写真が展示されていた。浜田さんは上高野に生まれ、いした写真が展示されていた。浜田さんは上高野に生まれ、いした写真が展示されていた。浜田さんは上高野に生まれ、いした写真が展示されていた。浜田さんは上高野に生まれ、いした写真が展示されていた。資料館には、浜田さんのさつえまで、次の土曜日、明里はさくらをさそって、お母さんと三人で

「道が川のように水でいっぱいだ……。」

変なのに写真に残して何を伝えたかったのだろう――。)(浜田さんは二つの大災害を体験して、自分も周りの人も大「建物や電信柱もたおれて、みんな大変そう。」

飛び込んできた。明里はたくさんの写真を見つめていると、一枚の写真が目にさんのとった写真をまとめたアルバムを見せてくださった。かざられている写真を見ていると、職員の方がさらに浜田

たなんて。」 「あっ。学校で見たお祭りの写真だ。大水害から五年後だっ

大水害のあとは見られず、明里もさくらも自然と笑顔になる。「町の人々が力を合わせて、ここまで復興したんだね。」









たんだよ。そのことに喜びを感じていたんだね。」「浜田さんは幸手の写真をとり続けることで人々に感謝され復興を喜ぶ人々の姿に力強さを感じた。

していかなくては――。)のことを教えてくれた浜田さんの写真をいつまでも大切に(今の幸手があるのは人々が支え合ってきたからなんだ。そ職員の方の言葉に明里もさくらも大きくうなずいた。

を調べてみたいと思った。生き続けていく気がした。そして、もっともっと幸手のこと明里は写真を通して、浜田さんの幸手への思いが心の中で

しょう。 あなたが大切にしていきたい幸手のよいところを書いてみま

にはどんなものがありますか。身近なところで地域の方が協力したり、支え合っているもの